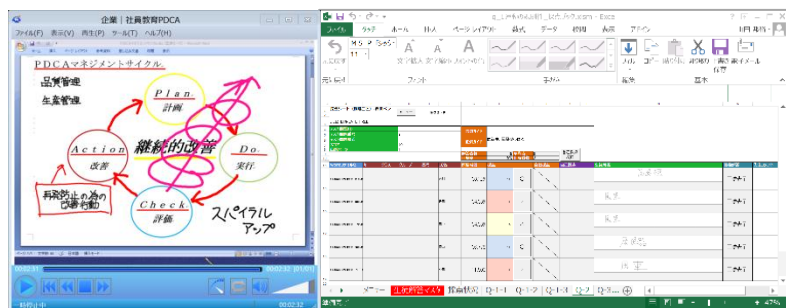


5S・カイゼンの効果的な学習システム開発へ ベトナムの工場の生産性向上を目指す

国際協力機構（JICA）は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてゼッターリンクス株式会社（東京都荒川区、山田邦裕代表取締役）が提案する「現場で使える5S・カイゼンのための能動的研修（アクティブラーニング）システムに関する案件化調査」（ベトナム社会主義共和国）を採択しました。

ベトナムの多くの製造工場では生産における工程管理が不十分であり、低生産性と製品の品質低下が課題となっています。今回の提案では、日本の品質管理技術である5Sや「カイゼン」を学習できるICTを活用した能動的研修（アクティブラーニング）システム教材や授業ビデオを取り入れた研修方法をベトナムに導入することを目指します。このシステムを使用することで、優れた研修ノウハウを講師間で共有・継承すると同時に、学習者がより効率的・効果的に学習できるようになり、ひいては作業の標準化、工場における生産性の改善と品質の向上が期待されます。



能動的研修（アクティブラーニング）教材作成ソフト



効率的・効果的な研修設計

今回の調査では、ベトナム現地の大学や高等教育機関と共同でコンテンツを開発し、現地の工場での学習システムの有効性調査を通じ、現地でのODA案件化、ビジネス展開に向けた検討を行います。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度補正予算分並びに2015年度第1回分は本年3月に公示を行いました。94件の応募のうち32件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査2014年度補正予算／2015年度第1回公示の採択結果について

URL：http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 藤原(案件担当)、野村(広報担当)

TEL 03-5226-9283 e-mail:pdfts@jica.go.jp